

データから見た都市の魅力を 構成する要素

(株)読売広告社 都市生活研究所 榎本 元

2016.05.17

都市の魅力を構成する要素 研究仮説

「都市の魅力」とは「**人自体が酵母菌**」となつて
つくられるものであり、
様々な才能を持つ人、老若男女、国籍を問わず、
“**多様性に富んだ人々**”が活発に活動している
まちであるとした。



上記仮説を裏付けるため、昨年度に続き、
「**魅力を感じるまち**」についてアンケートを実施し
因子分析を行った。

※標本「都市生活者意識調査2015」

- ・設問「住むとしたら、魅力を感じるまちについて」52問
- ・調査対象：東京30km圏以内居住する満20歳～74歳の男女
- ・標本数：1,254
- ・標本抽出法：エリアサンプリング法
- ・調査方法：留め置き法
(訪問して調査票の配布→対象者記入→訪問回収)

※因子抽出方法

最尤法、KAISERの正規化を伴うプロマックス法（社交回転）。
尚、採用変数に関しては、「説明された分数の合計」で初期の
固有値が1となる項目が12項目で、「抽出後の負荷量平方和」
の合計が47.55%であり、この12項目を採用した。

都市の魅力を構成する要素（因子分析）

「魅力を感じるまち」についての上位8因子を掲出。

<第1因子> 19.3%（分散の%）

歴史と自然があるまち
（杜、緑、水辺がある）

<第5因子> 2.1%（分散の%）

子どもが多いまち
（保育、育児。安心して健やかに
育める環境）

<第2因子> 5.8%（分散の%）

アーティストが住むまち
（芸術、音楽、芸能、文学、漫画等
に従事する人々が住む）

<第6因子> 2.6%（分散の%）

いろいろな人が集まるまち
（同質ではなく、多様な職業・年齢性別
・国籍の人がいる）

<第3因子> 4.9%（分散の%）

雑然とした繁華街があるまち
（雑味があり混沌とした賑やかな
商店街がある）

<第7因子> 1.9%（分散の%）

教育環境が整ったまち
（進学のための整った教育環境）

<第4因子> 4.0%（分散の%）

新しい整然としたまち
（刷新、画一、整理、計画的な街並み）

<第8因子> 1.8%（分散の%）

足が基本のトラフィック
（脱・自動車、徒歩、自転車、バス、
鉄道が基本、歩きまわれる楽しさ）

第1因子『歴史と自然があるまち』が極めて高いが、都市の魅力を語るうえで、良好な環境が大前提であると認識される。



注目すべきは、第2因子・第5因子・第6因子であり、「アーティスト」「子ども」「同質ではない人々」等多様性に富んだ人々が住むまちは魅力的と感じている。すなわち、

都市の魅力をつくる主な“人（酵母菌）”である。

更に今回、多様性を構成する、
因子分析上位の「アーティスト」に着目。



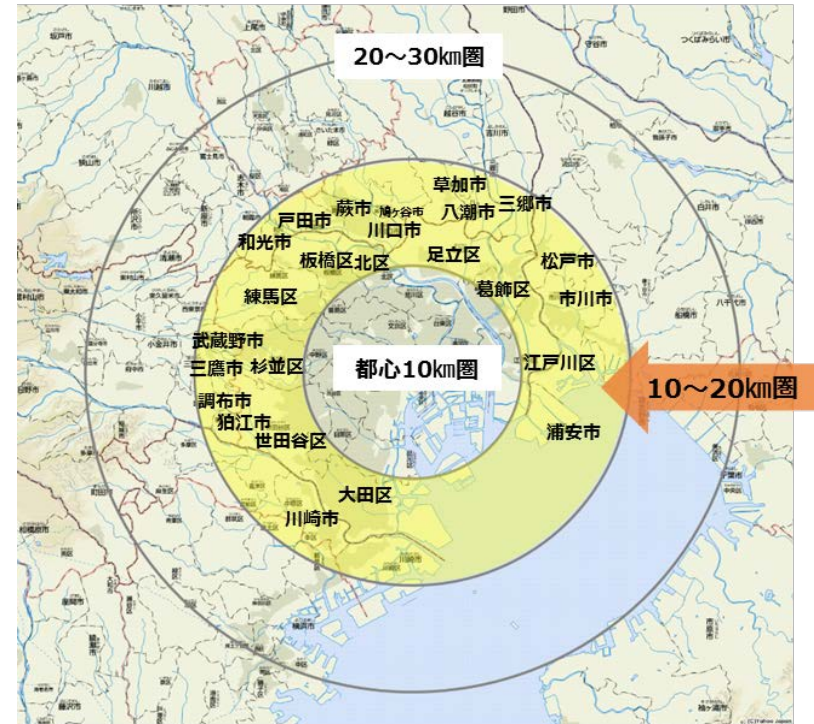
実際に東京30km圏に
アーティスト、クリエイター達が
どのエリアにどのくらい居住しているのか、
平成22年の国勢調査データをもとに分析し、
東京10～20km圏のまちの持つ特性や
ポテンシャルについて併せて分析・考察した。

国勢調査データによる検証

◇調査データ概要

- 主な調査データ：平成22年国勢調査
- 調査対象エリア（自治体）
東京駅を中心に半径10km圏、
10～20km圏、
20～30km圏に該当する自治体
（特別区、及び市、全88自治体）を選定。
- 職業分類**：平成22年国勢調査に用いる職業中分類
「著述家」
「彫刻家・画家・工芸美術家」
「音楽家」
「デザイナー」
「写真家・映像撮影者」
「舞踏家・俳優・演出家・演芸家」
「大学教員」の
7分類について分析。

※独立行政法人統計センターへの委託による統計の作成



左記の7つの職業従事者を
“創造的職業従事者”と定義する。

＜統計処理＞

- ・調査対象となるエリア（自治体）が全88となるため、先ず標準偏差を算出して、エリア毎の上記職業従事者別人口の分散傾向（ばらつき）を把握した。
- ・更に、標準化（平均を0、分散を1）に置き換えて、ばらつきの度合いを一目で把握できるようにした。
- ・また、各自治体別に上記職業従事者の占める人口比率（含有率）も併せて算出した。※15歳以上の人口を対象

<10～20km圏の自治体>

<著述家> ※（ ）は標準化の数値

自治体	著述家	
自治体	人口	標準化
川口市	90	-0.30
草加市	80	-0.35
蕨市	40	-0.57
戸田市	40	-0.57
鳩ヶ谷市	10	-0.74
和光市	30	-0.63
八潮市	10	-0.74
三郷市	30	-0.63
市川市	200	0.31
松戸市	100	-0.24
浦安市	160	0.09
大田区	380	1.30
世田谷区	1,180	5.69
杉並区	880	4.04
北区	240	0.53
板橋区	220	0.42
練馬区	680	2.94
足立区	140	-0.02
葛飾区	80	-0.35
江戸川区	240	0.53
武蔵野市	210	0.36
三鷹市	140	-0.02
調布市	200	0.31
狛江市	60	-0.46
川崎区	10	-0.74
幸区	10	-0.74
中原区	30	-0.63
高津区	190	0.25
多摩区	130	-0.08
宮前区	150	0.03

作家、評論家等の知識人。都心10km圏では港区、新宿区、品川区、渋谷区、中野区が多いが、

10～20km圏の世田谷区（5.69）、杉並区（4.04）、練馬区（2.94）が群を抜いて多い。

人口比率（含有率）では、10～20km圏の武蔵野市、20～30km圏の国分寺市、青葉区の比率が高い傾向にある。

※右側は標準化の数値
赤字は全88自治体のトップ3を表す

<彫刻家・画家・工芸美術家>

<10～20km圏の自治体>

自治体	彫刻家、画家、 工芸美術家	
自治体	人口	標準化
川口市	210	0.54
草加市	50	-0.49
蕨市	10	-0.75
戸田市	90	-0.24
鳩ヶ谷市	40	-0.56
和光市	40	-0.56
八潮市	0	-0.81
三郷市	0	-0.81
市川市	220	0.60
松戸市	160	0.21
浦安市	30	-0.62
大田区	360	1.50
世田谷区	840	4.58
杉並区	500	2.40
北区	200	0.47
板橋区	340	1.37
練馬区	1,020	5.74
足立区	140	0.09
葛飾区	60	-0.43
江戸川区	320	1.24
武蔵野市	240	0.73
三鷹市	180	0.34
調布市	150	0.15
狛江市	40	-0.56
川崎区	30	-0.62
幸区	20	-0.68
中原区	50	-0.49
高津区	60	-0.43
多摩区	150	0.15
宮前区	100	-0.17

※（ ）は標準化の数値

絵画・版画・書道等の創作活動及び劇画家や漫画家もこのジャンルに入る。

このジャンルは10～20km圏の集積傾向が顕著。中でも練馬区（5.74）、世田谷区（4.58）杉並区（2.40）と上位3地区の中で練馬区がトップとなった。

人口比率（含有率）では、武蔵野市（10～20km圏）、西東京市（20～30km圏）等が比較的高い比率となっている。

※右側は標準化の数値
赤字は全88自治体のトップ3を表す

＜音楽家＞ ※（ ）は標準化の数値

＜10～20km圏の自治体＞

自治体	音楽家	
自治体	人口	標準化
川口市	60	-0.41
草加市	70	-0.35
蕨市	90	-0.23
戸田市	60	-0.41
鳩ヶ谷市	20	-0.65
和光市	60	-0.41
八潮市	10	-0.71
三郷市	10	-0.71
市川市	140	0.07
松戸市	100	-0.17
浦安市	60	-0.41
大田区	380	1.52
世田谷区	1,160	6.21
杉並区	460	2.00
北区	240	0.68
板橋区	340	1.28
練馬区	740	3.68
足立区	200	0.44
葛飾区	40	-0.53
江戸川区	160	0.19
武蔵野市	220	0.56
三鷹市	100	-0.17
調布市	140	0.07
狛江市	90	-0.23
川崎区	40	-0.53
幸区	30	-0.59
中原区	50	-0.47
高津区	90	-0.23
多摩区	130	0.01
宮前区	160	0.19

作曲・演奏又は、演奏の指揮に従事する者と定義され、ピアノ教師は入らない。

都心10km圏では、渋谷区、新宿区、目黒区、品川区等城南・城西地区に集積が見られる。

10～20km圏では、世田谷区（6.21）、練馬区（3.68）、杉並区（2.00）と上位3地区は不動、次いで大田区、武蔵野市となっている。

20～30km圏は、青葉区、港北区が比較的多い。

※右側は標準化の数値
赤字は全88自治体のトップ3を表す

<10～20km圏の自治体>

<デザイナー> ※（ ）は標準化の数値

自治体	デザイナー	
自治体	人口	標準化
川口市	1,020	0.24
草加市	410	-0.44
蕨市	130	-0.76
戸田市	230	-0.64
鳩ヶ谷市	120	-0.77
和光市	460	-0.39
八潮市	130	-0.76
三郷市	200	-0.68
市川市	1,300	0.55
松戸市	880	0.08
浦安市	520	-0.32
大田区	2,540	1.94
世田谷区	5,850	5.64
杉並区	4,380	3.99
北区	1,140	0.37
板橋区	1,940	1.27
練馬区	2,820	2.25
足立区	1,320	0.57
葛飾区	880	0.08
江戸川区	1,540	0.82
武蔵野市	720	-0.10
三鷹市	1,150	0.38
調布市	1,160	0.40
狛江市	300	-0.57
川崎区	430	-0.42
幸区	380	-0.48
中原区	980	0.19
高津区	810	0.00
多摩区	700	-0.12
宮前区	1,030	0.25

デザイナーは服飾デザイナー・商業デザイナー・インテリアデザイナー・WEBデザイナー等、非常に多岐に亘るジャンル。都心10km圏の新宿区、目黒区、中野区、渋谷区等に多く集積している傾向にある。

10～20km圏では、世田谷区（5.64）、杉並区（3.99）、練馬区（2.25）が上位3地区を形成。

本デザイナーは、アート・芸術というより物品・装飾に関する「デザイナー」であり、商業的優位性の高い都心10km圏が産業集積の進む10～20km圏に収束している結果と考えられる。

※右側は標準化の数値
赤字は全88自治体のトップ3を表す

<10～20km圏の自治体>

自治体	写真家、映像撮影者	
自治体	人口	標準化
川口市	400	0.86
草加市	30	-0.74
蕨市	50	-0.66
戸田市	50	-0.66
鳩ヶ谷市	0	-0.87
和光市	90	-0.48
八潮市	30	-0.74
三郷市	50	-0.66
市川市	280	0.34
松戸市	400	0.86
浦安市	150	-0.22
大田区	460	1.12
世田谷区	1,680	6.42
杉並区	820	2.69
北区	200	0.00
板橋区	380	0.78
練馬区	840	2.77
足立区	260	0.26
葛飾区	240	0.17
江戸川区	400	0.86
武蔵野市	140	-0.26
三鷹市	250	0.21
調布市	350	0.65
狛江市	160	-0.18
川崎区	60	-0.61
幸区	90	-0.48
中原区	380	0.78
高津区	210	0.04
多摩区	150	-0.22
宮前区	220	0.08

<写真家・映像撮影者>

※（ ）は標準化の数値

写真家、カメラマン、商業写真家等である。都心10km圏の、目黒区、渋谷区、中野区の城西・城南エリア、山手線の外側及び周辺部に位置する自治体が多い。

10～20km圏では世田谷区（6.42）練馬区（2.77）杉並区（2.69）と上位3地区を形成、特に世田谷区が多い。

また、20～30km圏の青葉区、港北区等も多く、世田谷区から多摩エリア（東京西南部）にかけて広がっているイメージである。

※右側は標準化の数値
赤字は全88自治体のトップ3を表す

<10～20km圏の自治体>

自治体	舞踊家、俳優、演出家、演芸家	
自治体	人口	標準化
川口市	190	-0.28
草加市	100	-0.48
蕨市	40	-0.61
戸田市	80	-0.52
鳩ヶ谷市	30	-0.63
和光市	70	-0.54
八潮市	30	-0.63
三郷市	30	-0.63
市川市	300	-0.04
松戸市	220	-0.21
浦安市	630	0.69
大田区	840	1.15
世田谷区	3,480	6.94
杉並区	1,600	2.81
北区	360	0.09
板橋区	710	0.86
練馬区	1,220	1.98
足立区	420	0.23
葛飾区	260	-0.13
江戸川区	620	0.66
武蔵野市	390	0.16
三鷹市	450	0.29
調布市	590	0.60
狛江市	260	-0.13
川崎区	40	-0.61
幸区	100	-0.48
中原区	350	0.07
高津区	280	-0.08
多摩区	280	-0.08
宮前区	360	0.09

<舞踏家、俳優、演出家、演芸家>

※（ ）は標準化の数値

俳優、役者、日本舞踊家、ステージダンサー、落語家、演出家等極めて幅広いジャンルであり、デザイナー、音楽家に次いで母数が多い。都心10km圏では、渋谷区、目黒区が特に多く、渋谷区、目黒区への収束傾向が伺える。

10～20km圏では、世田谷区（6.94）、杉並区（2.81）練馬区（1.98）と上位3地区は変わらないが、特に世田谷区の集積（数が多い）が目立つ。

20～30km圏では、青葉区が目立ち、人口比率（含有率）では、麻生区が比較的高い割合を示している。

※右側は標準化の数値
赤字は全88自治体のトップ3を表す

<10～20km圏の自治体>

<大学教員>

※（ ）は標準化の数値

自治体	大学教員	
自治体	人口	標準化
川口市	300	-0.34
草加市	100	-0.77
蕨市	40	-0.90
戸田市	60	-0.86
鳩ヶ谷市	20	-0.95
和光市	130	-0.71
八潮市	10	-0.97
三郷市	70	-0.84
市川市	580	0.27
松戸市	700	0.53
浦安市	280	-0.38
大田区	1,160	1.52
世田谷区	2,880	5.25
杉並区	1,980	3.30
北区	520	0.14
板橋区	750	0.64
練馬区	1,680	2.65
足立区	640	0.40
葛飾区	240	-0.47
江戸川区	380	-0.17
武蔵野市	750	0.64
三鷹市	640	0.40
調布市	710	0.55
狛江市	270	-0.40
川崎区	60	-0.86
幸区	130	-0.71
中原区	250	-0.45
高津区	330	-0.27
多摩区	470	0.03
宮前区	400	-0.12

大学は、都心10kmの新宿区、文京区、豊島区が目立つが、

10～20km圏の、世田谷区（5.25）杉並区（3.30）、練馬区（2.65）が数において突出して多い。

人口比率（含有率）を併せて参照すると、20～30km圏の、小金井市、国分寺市、国立市、青葉区、麻生区等の比率が高い傾向にある。これは、大学の郊外移転等に伴い大学教員も郊外へ定住しているためと推察される。

※右側は標準化の数値
赤字は全88自治体のトップ3を表す

創造的職業従事者の集積傾向について①

【10～20km圏の傾向】

「世田谷区」「杉並区」「練馬区」が突出して多く、かつ創造的職業従事者のすべて（分析対象7職種）において、全88自治体中上位3位を独占。



東京30km圏において、創造的職業従事者は「世田谷区」「杉並区」「練馬区」の3区に、集積している傾向にある。

【都心10km圏の傾向】

中野区、目黒区、渋谷区、品川区等山手線沿線～外側、城西・城南のエリアに収束傾向が見られる。

【20～30km圏の傾向】

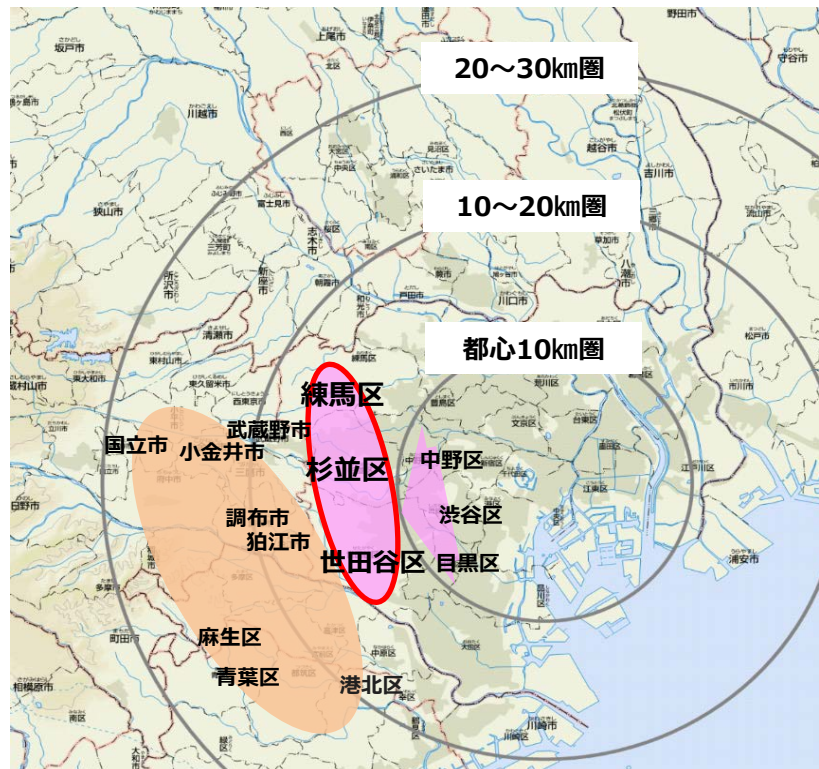
概して創造的職業従事者の数が少なく、平均値を下回る自治体が多いが、特定の職業に比較的高い数値を持つ自治体が見られる。

国勢調査データによる検証

創造的職業従事者の集積傾向について②

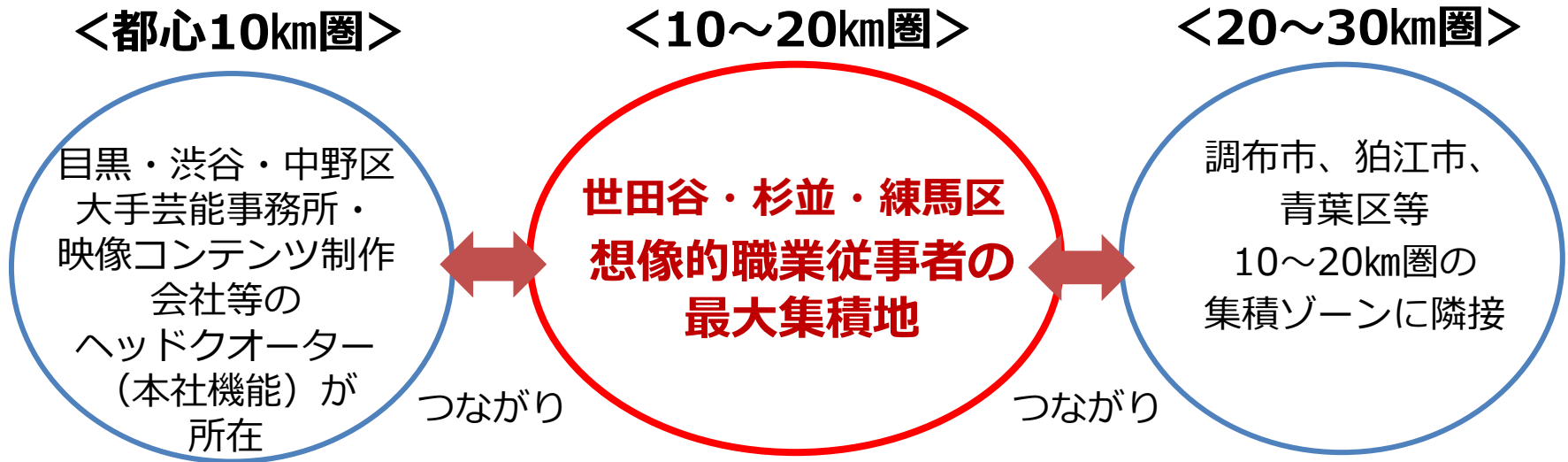
創造的職業従事者の集積は、都心10km圏の（目黒・渋谷・中野区）
10～20km圏の（世田谷・杉並・練馬区）、そして20～30km圏の西南部エリアの
3つに分けられる。

中でも最大の集積ゾーンである10～20km圏（世田谷・杉並・練馬区）は、“都心10km圏と20～30km圏の西南エリアを結ぶ要衝ゾーン”と捉える。



創造的職業従事者の集積の広がり

創造的職業従事者の集積傾向について③



すなわち

東京10km～20km圏（世田谷・杉並・練馬区）は、
創造的な暮らしを生み出す
インキュベーター（保育器／**醸造所**）的ポジション。

なぜ、創造的職業従事者（アーティスト等）が、
「世田谷区」「杉並区」「練馬区」の3区に多く
集積しているのか、

なぜ、創造的な暮らしを生み出すインキュベーター（保育器／醸造所）と捉えるのか。
立地特性の視点から改めて考察した。

<世田谷区>

○砧地区には、映像関連の施設が多い。

- ・ NHK放送技術研究所：放送関連機材の技術開発。
- ・ 東京メディアシティ：テレビ番組の収録スタジオ。
- ・ 東宝スタジオ：旧砧撮影所、戦前より多くの映画が撮影、敷地面積約9万㎡。
- ・ 円谷プロダクション：2008年まで本社が所在。ウルトラマン商店街はその名残。

○砧公園と世田谷美術館。

- ・ 砧公園は約39ヘクタールの広大な敷地を持つ広大な緑地を持つ公園。
- ・ 世田谷美術館は、砧公園の中にある区立美術館、アンリルソーをはじめ地元の芸術家を含め約15,000点の絵画を所蔵。
- ・ 地域の小中学校に対して、鑑賞教室を開催する等連携プログラムを実践。

○都心交通利便。

- ・ 東急線、小田急線、京王線「新宿」「渋谷」へダイレクトアクセス。



**主要映像関連施設が所在し、公園や文化施設にも
恵まれ、かつ都心アクセスも良好な世田谷区。**

<杉並区>

○文豪たちが住んだ阿佐ヶ谷。

- ・阿佐ヶ谷文士村：かつて太宰治・井伏鱒二・小林喜多治等蒼々たる文士が阿佐ヶ谷界隈に住み交流を深めた。今でもレトロな喫茶店等が点在し名残が垣間見える。

○活発なアニメ産業。

- ・サンライズ（ガンダム）、シャフト、ボンズ等々アニメ制作会社が多数所在。
- ・杉並区も専門部署を設け支援、また杉並アニメーションミュージアムにて情報発信。
- ・コミケ、サブカル系ショップも多く、独自のサブカル文化を形成。

○都心交通便利、成熟した都心郊外の住宅地。

- ・中央線沿線は都心通勤者のための住宅地として、成熟した住宅環境を形成。
- ・その他西武新宿線・丸の内線・京王井之頭線等が利用でき都心通勤利便。



**かつて多彩な文士・作家が多く住んでいた杉並エリア、
現在は、アニメ・サブカル等コンテンツ産業がさかん。**

<練馬区>

○日本初長編アニメ発祥の地、全国でも有数のアニメ制作会社集積地。

- ・練馬区内にアニメ産業（例：東映アニメーション・大泉学園）に関わる会社が多く、約80社のアニメ制作企業が集積。（市区町村単位で全国1位）

○著名なアニメ作家のアトリエが多数所在。

- ・手塚治虫、松本零士、ちばてつや、高橋留美子等々。

○都心へのアクセス良好、緑豊かで住みやすい環境。

- ・石神井公園、光が丘公園等優良な公園が多数。
- ・西武各線、東京メトロ、都営大江戸線等複数路線が乗り入れ。



アニメを教育に取り入れる練馬区。

アニメ文化を通じて地域愛を深め、作る楽しさやプロの仕事を学ぶ体験による子どもたちの成長促進を目指す。

また、協定を結んでいるアヌシー市の子どもたちとアニメ作品の交換を行うなど、アニメを通しての国際交流を行っている。

一般社団法人練馬アニメーション

練馬アニメーションサイトHPより参照

東京10～20km圏（世田谷・杉並・目黒区）のポテンシャル考察

なぜ、創造的職業従事者（アーティスト等）が、
「世田谷区」「杉並区」「練馬区」の3区に多く集積しているのか。
なぜ、創造的な暮らしを生み出すインキュベーター（保育器／醸造所）なのか。



創造的職業従事者が「働く場所」と「住む場所」は協調関係。
(酵母菌) (事業所) (暮らし)

(働く場所が先にあり、人は働く場に追従し集まった)

+ 良好な住環境・自然環境

+ 都心への交通便利

但し、「働く場所が集積」しているからであり、
結果として「アーティスト等が集まった」からと考える。

時代のトレンドから 都市の魅力を考える！

ICT技術の急速な進化により

「仕事の場所」は、都心に近いこと等
「距離の優位性」が相対的に薄らいでいる。

すなわち、個人のパフォーマンスが発揮できる
環境さえ整備できれば、
どこでも、いつでも仕事ができる。

次に、そのような「働く場所」と「住む場所」の
新しい関係性を提示した事例を参照していきたい。

時代のトレンドから都市の魅力を考える

二子玉川

<楽天クリムゾンハウス>

従業員が第二の家（ハウス）のように快適に過ごせ、**個人が最大のパーフォーマンスを発揮できるオフィス環境**を実現。

<co-lab二子玉川/カタリストBA>

クリエイター達のコラボスペース、多摩川の自然環境を背景に、次世代集合知の発露を目的として創発の場を目指す。

◎ 楽天クリムゾンハウス

楽天の新本社。入居人数は約1万人。
オフィス内には3食無料のカフェテリア、
リラクゼーションスペース、フィットネス
ジム&スパ、語学学習ルームのほかイス
ラム教徒のための祈祷室も設置。

◎ co-lab二子玉川

単なるシェアオフィスではなく、
これからの新しい働き方、ワークデザイン
の担い手を育成、検証、実用化、社会への
提案までの実践者となることが期待されて
いる。

【概要】

二子玉川ライズ開発エリア内に所在

<楽天クリムゾンハウス>

地上30階・地下2階のオフィス・ホテル棟
そのうち地上2階～27階を専有。
他にアネックス棟の3・4階も専有。

<CO-lab二子玉川>

二子玉川ライズオフィス、
8階の一画を専有

時代のトレンドから都市の魅力を考える

鎌倉市

<カマコンバレー>

この街を愛する人を、ITで全力応援、がコンセプト。
ITの知見やツールを通して、業種の垣根を超え多彩な人材が参加。
鎌倉市だけでなく、その活動は全国の自治体に広がっている。

“ぜんぶジブンゴト化”がモットー、
**定例会を重視、参加組員同志のブレスト、
プレゼンテーション等活動を支える仕組みが整う。**

<会員数、法人会員抜粋>
法人会員：24、個人会員：65

- ・カヤック
- ・村式
- ・ランサース
- ・グローバルコーチング
- ・小泉経営会計
- ・テトルクリエイティブ
- ・ジャンプスタート

※カマコンバレーHPより

<これまでの鎌倉>



暮らしが中心

<これからの鎌倉>



住む、働く、学ぶ…、職と暮らしが融合

神山町

<Tokushima working styles>

限界集落、過疎地域の徳島県「神山町」がIT企業・クリエイティブ系企業のサテライトオフィス・SOHOに変貌。 ※「Tokushima working styles」HPより

■徳島県がサテライトオフィス・SOHO誘致に力を入れている理由。

- ◎3.11の震災以降、都心部一極集中型の経済状況に大きなリスク。
 - ◎県内全域に敷設されたCATV網と高速インターネット網。
 - ◎自然豊かな過疎地域であり自然環境と歴史情緒あふれる古民家が多く存在。
- 都心では実現出来ない、オフィス環境が誕生。

■徳島県がサテライトオフィス開設事業者への助成金・補助金支援。

- クリエイティブ事業、SOHO事業
 - ・Web制作・デジタルコンテンツ制作関連
 - ・音楽・アート・芸能関連
 - ・各種インターネットサービス・eビジネス
 - ・出版・編集関連
 - ・マーケティング・調査・企画関連
 - ・広告・広報関連等々

<進出企業例>

神山町、三好市、美和町の3市。
その内「神山町」には
全14社のうち9社が進出。

- ・「Sunsun」
- ・「井上広告事務所」
- ・「キネトスコープ社」
- ・「ブリッジデザイン」 等々

ICT、広告、映像関連の企業が中心。

黒部市

<YKK 本社機能移転>

YKK発祥の地、水と自然豊かな富山県黒部市に生産拠点のみならず、人事・経理部門等本社機能を一部移転。

■ 本社機能一部移転の狙い。

- ◎ 東日本大震災をきっかけに首都圏に集中した本社機能を分散し、災害時にも事業が続けられる体制づくり（BCP）が狙い。
東京勤務の社員1,300人のうち230人程度を移動予定。

<移転推進の背景要因・施策>



北陸新幹線の開通、
最短2時間14分で
アクセス。



地方創生政策の活用。
地方に本社移転、
オフィス新增設した
場合、各種の税制
優遇措置が適用。



「パッシブタウン
黒部モデル」を建設。
商業棟・託児所を設け
る等転勤家族も定住
可能な職住近接の街
づくりを推進。

※「パッシブタウン黒部モデル」、元7YKK社宅跡地、
総戸数250戸、定住人口約800人、
賃貸住宅主体の複合開発の「エコタウン」。

時代のトレンドから都市の魅力を考える

フィスカルス村

<人口600人の芸術の村>

フィンランドの首都ヘルシンキより西に約85km、かつて製鉄業で栄えたフィスカルス。一度廃村になりかけるが、アーティスト達の定住により、アートビレッジとして再生。

◎水と緑、天然鉱物資源が豊富で、「製鉄の村」として栄えたフィスカルス。オレンジ色のハサミで有名な「FISKARS」社創業の地でもある。

◎やがて企業が移転し廃村に追い込まれたが、19世紀につくられた歴史ある建物群に魅了された**数人のアーティストたちがフィスカルスに移住、製鉄所跡や倉庫、古い民家などをリノベーションして、アトリエやギャラリー、ショップへと蘇った。**

<過去>

製鉄の村

<フィスカルスの変遷>

アーティストが定住、
歴史的建造物を
リノベーション

<現在>

芸術の村

都市（まち）が魅力的に
生き続けるために

都市（まち）が魅力的に生き続けるために

『距離』は消え『場』は残る。

都市（まち）が魅力的に生き続けるために

<キーワード>

『場』

『コンバージョン』

歴史的建造物や環境等の地域特性を生かし、時代に適合した「場」に変化。

地域の持つ歴史や自然を尊重した街並み・環境の保全。

地域のオンリーワンの魅力を生かしながら、時代のトレンドに適合した産業の育成。

- ・鎌倉市：「カマコンバレー」
- ・神山町：「Tokushima working styles」
- ・フィスカルス村「人口600人の芸術の村」

『デベロップメント』

「場」の価値を重視したまちづくり。

多様な人を受け入れ、交流できる仕組みの開発。

まちの魅力をつくる“人（酵母菌）”を育成する土壌づくり。

個人のパフォーマンスが最大限発揮できる「場」の開発。

- ・二子玉川：「楽天クリームゾンハウス」
「co-lab二子玉川」
- ・黒部市：「YKK 本社機能移転」

都市（まち）が魅力的に生き続けるために

職の有無よりも前に
“自分たちが住みたい場所”を優先して
まちを選ぶ人々が現れてきた。

気持ちの良い生活が実現することで
人々が集まり まちが発展し
企業はそんな人々が住む
人気のまちを目指してあとからやってくる。

～PDCポートランド市開発局マネージャー：スティーブン・シェイン～ より引用

THANK YOU !